

## 【建設業協会女性部会現場見学会 in 松本市基幹博物館に参加】

○開催日 令和3年10月25日(月) 10時30分～

○出席者 県内建設系企業に勤務する女性 19名  
長野県職員建設女性の会会員 1名

○現場見学会

・松本市基幹博物館新築主体工事

○意見交換会・・・5班に分かれて意見交換を行った

### ■現場見学会の様子■



工事の様子（外観）



内部に入り説明を受けた



内部の様子



グループに分かれ、意見交換会を行った

## ■参加者の感想■

普段建築の現場、しかもかなり大きな規模の現場は見る機会がないので、とても新鮮な気持ちで見学させていただきました。専門的な言葉もあって十分に理解ができたとは言えませんが、工区を5つに分けて、西側から東側へ順に工事しているとのことで、それぞれの工程を間近で見ることができました。完成してオープンする頃には私は異動しているかと思いますが、完成したら見に行ってみたいと思います。

現場見学の前にパワーポイントで説明を受けた中で、BIM(Building Information Modeling)という技術についてもお話がありました。昨年12月に行われた、農業土木職の会員研修でも、BIMの技術について少し耳にしたので、最近は従来のCADよりもさらに進化した技術を活用するようになってきているんだなと感じました。ということは、そういった最新技術を、自分のような若くてまだこれから長く働かなくてはならない者が積極的に学ぶ必要があると感じました。

午後は、5つのグループ(1グループ3～4人)に分かれて意見交換会を行いました。長野県建設業協会は15の支部があるそうで、最近その支部ごとに女性部会を立ち上げたようですが、まだまだ認知されておらず活動もあまりできていないとのことでした。グループでの意見交換会の中では、県の建設女性の会でどのような活動をしたのかという質問があったので、昨年度の意見交換会(ワールドカフェ形式のとき)や農業土木職員対象の現場研修での様子をお伝えしました。